



SDGs Quest みらい甲子園 優秀賞を受賞しました！

令和8年3月28日(土)京急建設グループ所属の1チームが1次審査を通過し、関東学院大学 横浜・関内キャンパスにてファイナルセレモニーに参加しました。ファイナルセレモニーにてプレゼンテーションを行い、参加した12校の中から👑優秀賞👑を受賞しました！右記は最終審査で使用した発表動画のQRコードです。ぜひご覧ください。研究タイトル、アブストラクト、発表メンバーは以下のとおりです。



【研究タイトル】

食のサーキュラーエコノミーについて

【アブストラクト】

サーキュラーエコノミーとは、循環を意味しています。京急電鉄の豊富な輸送手段と三浦半島の食資源を活かして、最大限資源を循環利用することで、廃棄物を最小限に抑えるシステムを確立し、地域が持続可能になることを目標にしています。文献や参考資料の調査、モデルの設計、効果と課題の分析を通して、経済モデルの構築、環境や社会への貢献、経済効果と新たな展開を実現につなげていきます。

【発表メンバー】

80期1組 小川 咲希さん、2組 伊藤 眞翔さん、染谷 柁彰さん、谷田 楓斗さん、水野 陽樹さん
3組 山形 竜央さん

❀ 参加して感じた事 ❀



みらい甲子園への参加を通して、私たちの探究テーマである「食のサーキュラーエコノミー」について改めて深く考える貴重な経験が出来ました。また、自分たちで調査や議論を重ねる中で、食品ロスや資源循環の問題が私たちの日常生活と強く関わっていることを実感しました。特に各高校との合流ワークショップでは、同じSDGsをテーマにしても視点や発想が大きく異なることに驚き、多くの刺激を受けました。他校の意見を聞くことで、自分たちの考えを客観的に見直すことができ、研究をさらに深めるきっかけになりました。この経験を今後の学びや活動にも活かし、次回以降も今回のように自分とは違った意見を共有できる場には積極的に参加したいと考えています。

80期2組 伊藤 眞翔

ファイナルセレモニーに参加して一番強く感じたのは、高校生でも社会に貢献できる可能性があるということです。大学の教授や法人の方々に直接プレゼンする中で、自分たちのアイデアが一学生の意見ではなく、社会を動かす解決策として評価されていることに驚きと嬉しさを感じました。他校のチームの発表も、同じ高校生とは思えないくらい多様な分野・角度から研究を進めていて、とても感心しました。このセレモニーで経験したこと、他校の発表から学んだことを、今後の研究活動に活かし、頑張りたいと思いました。

80期3組 山形 竜央



ポスターセッションにて使用したポスターは西側 AB 棟間 2 階廊下に掲示しています。ぜひご覧ください！